

# harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り Vol.143

— ごあいさつ —

院長 吉田 徹



3月を迎えて今年も桜の便りが待ち遠しい季節になってきました。

今年のお正月は、インフルエンザの大流行に新型コロナウイルス感染症が加わるダブル流行となり、各医療機関は対応に苦慮されたと思います。また大船渡の山林火災は平成以後、全国最大規模となり大きな被害が出ております。避難所生活を送られている方々には心よりお見舞い申し上げます。県立病院のネットワークによる支援も始まっていますが、当院としても被災地支援にできる限りの協力をしていきたいと考えております。地震・水害・火災とあらゆる自然災害が繰り返し起きています。地域の方々におかれましては自助努力が災害対応の基本となりますので、日々の備えを心がけて頂きたいと思っております。

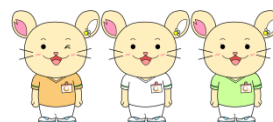
日頃は当院との連携で中部医療圏の命と健康を守って頂いている皆様に心より感謝致します。令和6年度は、医療局のかつてない赤字決算という衝撃的な報道から始まりましたが、厳しい財政状況も踏まえながら来年度からの経営計画が固まり、医療の質向上と持続可能な経営との両立に向けて動き始めております。次期経営計画のキーワードは「機能分化と連携強化」であり良質な医療を持続的に提供していくための多くの方策が盛り込まれました。

当院は放射線治療の分野が機能強化されることが決まり、放射線治療装置は2台体制となり、北東北3県で初めての「サイバーナイフ」が導入されることが決まりました。現在「サイバーナイフ導入プロジェクトチーム」を立ち上げて有効利用に向けて取り組みを始めています。実際の導入は令和8年度になりますが、これまで岩手県内で行えなかった治療が当院で可能になる事が期待されております。今後、導入に向けての進捗状況を随時発信して参ります。

私はこの3月で41年間の県立病院勤務を定年退職する年齢となりました。これまでお世話になった皆様に心より感謝申し上げます。次年度のメンバーに病院運営のバトンをお渡ししますが、今後は、これまでとは違った立場で中部医療圏の医療体制の充実に関与できればと思っております。中部医療圏の皆様の幸せを心からお祈りして結びと致します。

## ～～ 岩手県立中部病院 理念と基本方針 ～～

- |      |   |
|------|---|
| 理 念  | 心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する。   |
| 基本方針 | 1. 安全で質の高い医療を提供する。<br>2. 医療・保健・福祉施設、行政との協働を推進する。<br>3. 人間性豊かな医療人を育成する。<br>4. 明るく働き甲斐のある職場をつくる。<br>5. 健全な病院経営に努める。 |



## 緩和ケア研修会

2025.2.7 (金)

2月7日(金)に地域の医療従事者を対象とした緩和ケア研修会を開催し、院内外から42名(参集16名、Zoom26名)の参加者がありました。今回は、当院の小原 久美子認知症看護認定看護師から認知症ケアについてお話をいただきました。講演では、認知症が進行すると症状をうまく言葉で表せないこと、身体の不調を訴えられない等の症状を理解したうえで対応する必要があること等分かりやすくお話していただき、大変有意義な時間となりました。

参加者からは、「認知症の方の行動をどのようにアセスメントすれば良いのか、ポイントが分かって勉強になった」、「思いを汲み取ることが出来るよう非言語的コミュニケーションも大切にしたいと思いました」等、多数の感想をいただきました。

今後も研修会等を通じ、地域の医療従事者とともにスキルアップを図っていきながら、患者さんに寄り添った医療を心がけていきたいと思えます。



## 地域医療研究会

2025.2.26 (水)

2月26日(水)今年度2回目の地域医療研究会を開催いたしました。時間外の開催ではありましたが、院内外から多数の参加がありました。心より感謝申し上げます。

講座では、初めに当院の高橋主任診療放射線技師から、「サイバーナイフについて～ロボット支援型放射線治療の最前線」と題し、当院に導入が決定しているサイバーナイフの概要について動画を織り交ぜながら分かりやすく説明いただきました。続いて当院の綿引ペインクリニック科長から「ペインクリニックが行う緩和ケアの取り組み」と題し、ペインクリニックで対応可能な症例や治療法の説明等お話をいただきました。参加者からは、「もっと地域へのアピールが必要と感じた」(医師)、「病態と進行の程度によっては、苦痛をかなり緩和する事を学んだ」(看護師)等の感想をいただいたほか、「演題等広く希望を募って欲しい」(医師)等のご意見もいただきました。今回は当院のみの演題となりましたが、次回は多職種や院外の方の要望等もお聞きしながら、地域の医療従事者に有用となるような研修会としていきたいと考えておりますので、今後もよろしくお願いたします。



高橋主任診療放射線技師



綿引ペインクリニック科長



研修会の様子

3月10日(月)に地域の医療従事者を対象とした第2回医科歯科連携研修会を開催し、院内外から29名(参集20名、Zoom9名)の参加者がありました。当院 伊藤 明人第1泌尿器科長を講師として「全身疾患と骨粗鬆症 医科歯科連携による包括的アプローチ」についてお話をいただきました。講演では、抜歯などの歯科処置・手術前のARA(骨吸収抑制薬)の予防的休薬は原則不要であること、慢性腎臓病や糖尿病は骨密度を大きく低下させるとともに骨折リスクも高まり、糖尿病との依存で骨折リスクはさらに増大する等のお話がありました。

さらに慢性腎臓病からの骨折リスクを防ぐにはしっかり食べて低栄養を防ぐということが大事であること、また、歯は健康における基本であり、歯が無くて食べられないとたんぱく質摂取の減少につながり、骨密度の低下や骨粗鬆症の発症、骨折リスクの増加を引き起こす。したがって、骨粗鬆症の治療する患者さんは全例が歯科スクリーニングの対象であり、治療を開始する上で、医科歯科連携は必須であると話されました。

参加者からは、「なぜ骨粗鬆症と関係が深いのか初めて理解しました」等の感想をいただいたほか、「認知症と歯科の関係について知りたい」などのご要望もいただきました。今後も地域の医療従事者のニーズをお聞きしながら、有意義な研修会を企画していきたいと考えております。

最後に平成24年に歯科標榜がない県立病院では初の歯科衛生士として当院に配置となり、医科歯科連携の立ち上げから、その後の北上・花巻の歯科医師会と協働しての周術期・周産期歯科受診の推進、多職種と連携しての院内口腔アセスメントの標準化の取り組みなど、地域における口腔機能維持管理体制の基盤を構築・推進された赤坂非常勤歯科衛生士が、今年度3月末で当院を離れることとなり、ご挨拶いたしました。

赤坂非常勤歯科衛生士からは、当時の院長から「これまでの文化を変えること」、「地域歯科医師との連携」についてお願いをされ、始まって2年目の時に消滅の危機もあったが、スタッフの方々の協力もあり実績が次第に右肩上がりに伸びてきたこと、医科歯科連携の言葉が今日ではスタンダードとなり、看護職種をはじめ他の職種の方々から必要とされる存在になったこと、素晴らしいスタッフに恵まれ口腔ケアのマニュアルも作成出来た事等が挙げられ、「今まで続けてきて本当に良かった、一言では言い尽くせないほど感謝している」との話がありました。

今後は、ライフワークとして障がい者歯科を進めていきたいと話され、健康に留意され益々のご活躍を祈念いたします。赤坂さんのこれまでのご尽力に心から感謝し、今後も地域の関係機関と協働しながら患者さんに寄り添った医科歯科連携を行ってまいります。



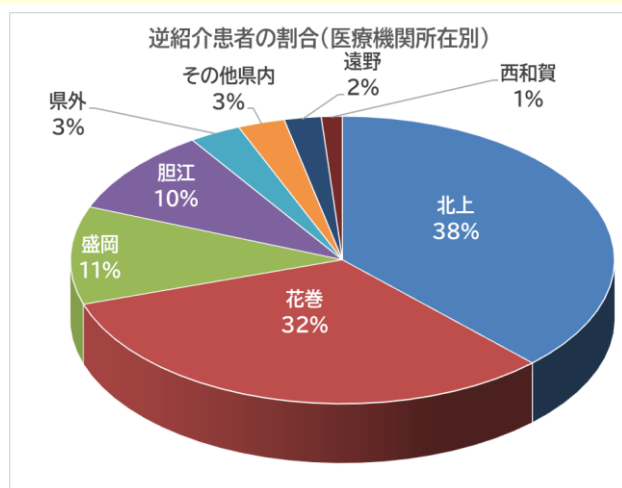
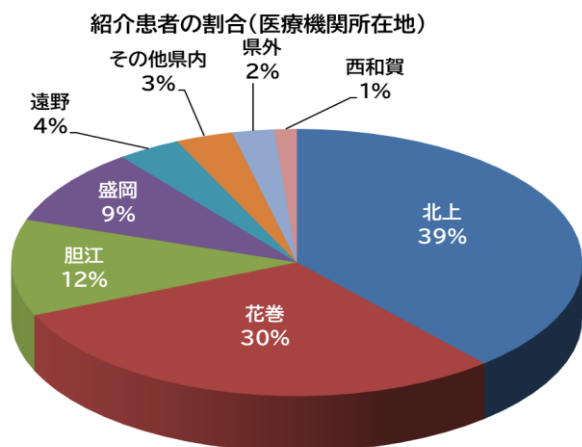
伊藤第1泌尿器科長



赤坂非常勤歯科衛生士

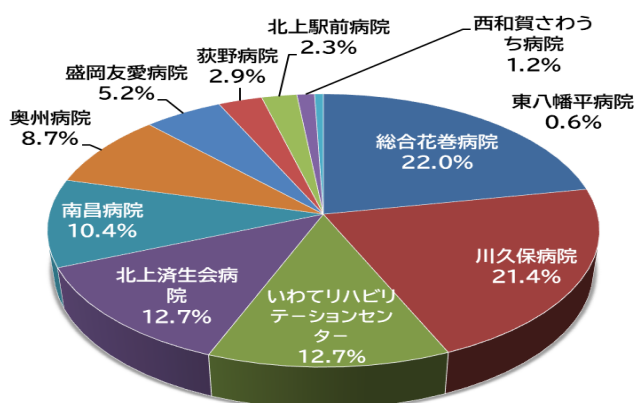
# 地域医療支援委員会 2025.2.19 (水)

当院では、地域医療支援病院として救急医療や医療器械の共同利用、地域の医療従事者の資質向上を図るための研修会の実施等の役割がありますが、当院の地域における医療確保に必要な支援の遂行状況について、四半期に一度、院外の学識経験者等で構成される委員会を開催し、委員の方から審議、ご意見をいただいております。今回、第4回目の地域医療支援委員会を開催しましたので状況等をお知らせいたします。委員の方からの様々なご意見等は真摯に受けとめ、改善等図っていきたくと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



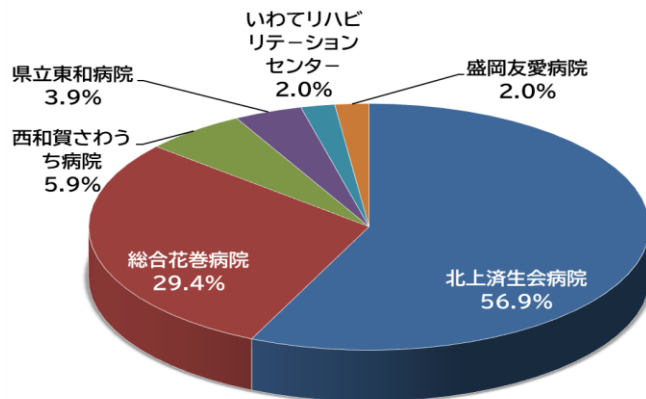
## 脳卒中パスの紹介先の割合

### R6紹介先割合



## 大腿骨骨折パスの紹介先の割合

### R6紹介先割合



## 地域医療福祉連携室からのお願い ◇当院は予約制です◇

基本的に外来診療は予約制とさせていただきます。

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともございます。

お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前に予約のお申込をいただくよう、ご協力をお願いいたします。

なお、当日の患者紹介の際は、紹介先の診療科医師に電話にてご一報いただけますと、よりスムーズに患者さんを受け入れることができますので、ご協力をお願いいたします。



発行：岩手県立中部病院  
地域医療福祉連携室

〒024-8507

岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地

TEL 0197-71-1511 (代表)

0197-71-1518 (連携室直通)

FAX 0197-71-1881 (連携室専用)

URL <http://www.chubu-hp.com/>

